平成18年 第6回沼田町議会臨時会 会議録

平成18年11月10日(金)
午前10時22分 開会

1. 出席議員

副議長	1番	杉本邦雄	議員			
	2番	横山忠男	議員	3番	室田俊朗	議員
	4番	久保寛	議員	5番	津川均	議員
	6番	山田英次	議員	7番	上野敏夫	議員
	8番	絵内勝己	議員	10番	中村保夫	議員
	11番	野道夫	議員	12番	橋場守	議員
	13番	大沼恒雄	議員			

2. 欠席議員 9番 吉田好宏 議員

3. 地方自治法第121条の規定により、説明のため会議に出席した者の職氏名
町長 西田篤正 君

4. 町長の委任を受けて出席した説明員

助役	藤間武君	総務課主幹	黒田美和君
財政課長	辻山典哉君	農業振興課長	矢野潔君
住民生活課長	辻広治君	建設課長	神憲彦君
旭寿園園長	橋英則君	和風園園長	浅野信行君

5. 教育委員会委員長の委任を受けて出席した説明員

教育長 松田剛 君

6. 職務のため、会議に出席した者の職氏名

事務局長 谷口勲 君 書記 斉藤真二 君

7. 付議案件は次のとおり

(議件番号)	(件名)
	会議録署名議員の指名
	会期の決定
承認第 7 号	専決処分の承認を求めることについて
議案第 7 6 号	平成 1 8 年度沼田町一般会計補正予算について

(開会宣言)

○副議長（杉本邦雄副議長）これより、本日をもって招集されました、平成18年第6回沼田町議会臨時会を開会をいたします。定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

(会議録署名議員の指名)

○副議長（杉本邦雄副議長）日程第1、会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員は、会議規則第120条の規定により、4番 久保議員、5番 津川議員を指名致します。

(会期の決定)

○副議長（杉本邦雄副議長）日程第2、会期の決定を議題と致します。お諮り致します。本臨時会の会期は、本日1日間に致したいと思えます。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○副議長（杉本邦雄副議長）ご異議なしと認めます。よって、会期は本日1日間に決しました。

(一般議案)

○副議長（杉本邦雄副議長）日程第3、承認第7号 専決処分の承認を求めることについてを議題と致します。提案理由の説明を求めます。財政課長。

○財政課長（辻山典哉課長）承認第7号 専決処分の承認を求めることについて、地方自治法第179条第1項の規定によって、別紙のとおり専決処分したので、同条第3項の規定によりこれを報告し、承認を求めます。平成18年11月10日提出、沼田町長名でございます。

次ページをお開きを願います。専決処分書、地方自治法第179条第1項の規定によって、平成18年度沼田町一般会計補正予算（専決第1号）を別冊のとおり専決処分する。平成18年10月30日付けであります、町長名でございます。別冊の専決第1号、1頁をお開きを願いたいと思えます。

[以下、補正予算専決第1号朗読、説明]

○副議長（杉本邦雄副議長）説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑ありませんか。はい、上野議員。

○7番（上野敏夫議員）はい、7番、上野です。この弁護士の高額報酬についてなんですけれども、この数字が、私はちょっと金額高いように思っております。というのは、平成16年度の3月で廃止されてしまった日本弁護士協会の規定の報酬料の一般規定の中では、裁判の費用については訴訟額の8%ということで、160万円ですから12万

よつとの金額で、これは着手料が基本的な数字が12万くらいということで、今の51万、この間の全員協議会の中でも49万円というのは、また、これ更に上がっているし、それと更に報酬料についても日本弁護士会では、まだ安い金額が、基本的な数字があります。

それと地方自治体で行政訴訟を起こす場合については、着手金については3分の2でいいという、これも日本弁護士会の中で一応基準的なものが、廃止はされているといえども、それを基準としてやっている。ということは、沼田町の訴訟については、行政問題なので着手金についても3分の2、更に報酬金については2分の1という、そういう基本的な数字をまだ使われているということをお聞きしましたので、この100万円がちょっと高過ぎるということと、この百万円を出さなければならなくなった原因というのは、8月3日の町民説明会の時に町長が議事録を見て下さいということから発端に発していると思います。ということであれば、町長が言ったことによって、町民にこの百万円の税金を使わなくなってしまったというのは、ちょっと出すところが違うような、私は気がしておりますので、これについては、もう少し慎重に金額等、お金の出し方についてはちょっと問題があると思います。

○副議長（杉本邦雄副議長）はい、総務課長。

○総務課長（金子幸保課長）ただいま、上野議員から質問された件でございますけれども、この関係につきましては、札幌弁護士会の報酬規定第15条1項によって、経済的利益の額は8百万ということでございます。着手金額の標準額は、49万円ということになってございまして、ただいま上野議員から言われましたとおり、51万とは高いのではないかというお話がありました。これは49万円の消費税がプラスされて51万くらいになっているということですので、ご理解願いたいと思います。

また、報償費で百万ということでございますけれども、これについては、あくまでも概算の費用でございまして、この金額が全て掛かっていくということではございませんので、ご理解の程よろしくお願い致します。

○副議長（杉本邦雄副議長）はい、上野議員。

○7番（上野敏夫議員）今、総務課長、8百万という数字を出されたのですけれども、この間、私達見せていただいたの160万円でなかったですか。

○副議長（杉本邦雄副議長）はい、総務課長。

○総務課長（金子幸保課長）裁判所の方から来た関係でいきますと、そういう金額になってございます。これについては、高橋さんから起こされた訴状の中に、訴訟物の価格160万、徴用印紙額が1万3千円というふうになってございまして、これはあくまでも高橋さん側から起こされた額でございまして、私共、相談致しております、それぞれ弁護士会の所属があるのです。今回は札幌弁護士会ですから、札幌弁護士会の早見表と言うのですか、全国統一ということではなくて、その会ごとにそういう報酬金額を決めているらしいのです。

それで今回お願いした町村会の顧問弁護士である佐々木さんについては、札幌弁護士

会に所属しているということで、その報酬規定の第15条1項に書いてありますとおり、速算表というのがあるのです。ここで経済的利益の価格が8百万ということでございますので、標準額は49万という形になってございまして、今、上野議員が言われますようにその増減の許容額というの、またあります。それについては、34万3千円から63万7千円、この間で決められますよということになっているのです。それで、うちの場合は、その標準額で契約したという形になってございまして、それはそれぞれのやり方と言うのか、弁護士さんとお願ひしたところの話し合いによっては、そういう形も有り得るかと思ひますけれども、うちは標準額を支出するという形になってございまして。

○副議長（杉本邦雄副議長）はい、上野議員。

○7番（上野敏夫議員）申し訳ないですけれども、8百万という数字が旭川地裁から出た金額が8百万と言ったのか、それとも札幌弁護士会で8百万と決めたのか、ちょっとその辺、8百万についてちょっと金額が大きいので、そうなった経過を教えてくださいたいと思ひます。

○総務課長（金子幸保課長）経済的利益の価格というのが、8百万という算定の仕方を札幌弁護士会の方ではしているらしいのです。それで、情報公開請求事件というのは、経済的価値と言うのか、そういうものを出すものがないらしいのです。例えば、損害賠償を求めるだとか、そういう経済的に金額を出せるものについては、出てくるのですけれども、こういう情報公開請求事件のようなものについては、その価格は8百万というふうに札幌弁護士会の方では線を引いているということなので、よろしくお願ひ致します。

○副議長（杉本邦雄副議長）はい。

○7番（上野敏夫議員）どうもその高橋さんが起こした訴訟額が160万円というのが、弁護士会で8百万、であれば違う弁護士に見積もりと言うか、比較することはされたのですか。

○副議長（杉本邦雄副議長）はい、それでは休憩して、他に質問があるようですから。

休憩 10時34分

再会 10時41分

○副議長（杉本邦雄副議長）再会致します。他に質問ありませんか。

（「なし」の声あり）

○副議長（杉本邦雄副議長）それでは、質疑を終結致します。これより討論に入ります。ご意見ありませんか。

○7番（上野敏夫議員）私、さっき質問の中でお伺ひしたのですけれども、町長が議事録あるということについて、高橋さんが情報公開して下さいということになったので、その辺、町長の考えをお伺ひしたい。

○副議長（杉本邦雄副議長）それは討論の前に。はい。町長の方から。

○町長（西田篤正町長）この件につきましては、いろんな場所でも説明をさせていただいておりますけれども、事の発端は町長がそう言ったのではなくて、質問した側の意見に対して私はそれを答えたわけですから、上野議員さん、そこをしっかりと捉えていただきたいと思うのです。基本的に私は議員の皆さん方にも確認してはいますが、議会の全員協議会というのは、こういう状況だったのですよということを説明したのですけれども、そうでないという意見を言ったので、私はきっと議会でもそういう記録があるのかなということでお話申し上げました。その後、議会にはあまりそういうものが無いということで私共の地域開発課の職員が取った記録を見せるまで親切に議会が対応した。それが今回の裏目に出たのですけれども、そういう状況も理解していただきたい。事の発端は、私でなくて上野議員なのです。そこはちょっと勘違いしないでほしいのです。

ですから、私は今回の裁判で証人と言いますか、そういうもので出て来いということになれば私はそういうことでキチッと説明させていただきます。ただ、議事録と言ったのは会議の議事録ですから、議事録、議事録と言われても、それは議会にも、今、申し上げましたように、そういうメモ的なものがあるのかなというふうに私、思っていましたけれども、議会では全員協議会というのは、そういう必要はないし取っていないということですから、若干でもあるのかもしれませんが、取っていないということで処理されているようですから、私の方は言ったことに対して議会はこういう状況だったですよということを議会としても分かってほしいということで、今言った地域開発課のメモを見せたのだろう。その経過をしっかりと捉えていただきたいというふうに思うのです。

○副議長（杉本邦雄副議長）再度質疑を終結致します。これより討論に入ります。ご意見ありませんか。

（「なし」の声あり）

○副議長（杉本邦雄副議長）ご意見なしと認め、討論を終結致します。本案について採決致します。お諮り致します。承認第7号は、承認することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○副議長（杉本邦雄副議長）ご異議なしと認めます。よって、本案は承認することに決しました。

○副議長（杉本邦雄副議長）日程第4、議案第76号 平成18年度沼田町一般会計補正予算についてを議題と致します。提案理由の説明を求めます。財政課長。

○財政課長（辻山典哉課長）議案第76号 平成18年度沼田町一般会計補正予算について。平成18年度沼田町一般会計補正予算を別冊のとおり提出する。平成18年11月10日提出、町長名でございます。別冊の補正予算第5号1ページをお開きを願いたいと思います。

〔以下、補正予算第5号朗読、説明〕

○副議長（杉本邦雄副議長）説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑ありませんか。はい、絵内議員。

○8番（絵内勝己議員）8番、絵内です。沼田ハイヤーさんには私達、沼田町としても大変にご苦勞もいただき、ご協力いただいているわけですがけれども、今回、こういったいろんな助成を出してハイヤーを利用することに対して私は大賛成なのですがけれども、非常に利用されている人からの、ここで言うべきではないのかもしれませんが、苦情があるのも事実であります。というのは、独占企業だからそうなのかもしれませんが、私はすべてだとは言いませんけれども、ハイヤーのオペレーターさんによっては、その病院の反対側に停めて病院に着きましたよという、そんな人もおるのも事実なようであります。少なくとも、行政からこうやって仕事を依頼する時には、サービス業ですのでサービスをもう少し徹底した状況にするよう、そういったことも要請すべきだと思うのであります。というのは、病院の方に着いたら、足の不自由な方々、大方乗られると思うのですが、少なくとも病院まで手ぐらい添えてあげるとか、そんな大きな荷物は持っていないでしょうけれども、荷物を持ってあげるとか、その位の配慮というのは僕は絶対必要だと思うのです。それがサービスだと思うのです。これだと、全く今の状況の沼田ハイヤーさんの、こういう言い方したら議事録に載っているのでも申し訳ないですが、全く事務的な部分でしか運営されていないのが非常に残念でありますので、どうか行政の方から正式に契約というか、そんなお話をする機会がありましたら、是非そんなことも申し伝えていただきたいことをお願い申し上げたいと思います。

○副議長（杉本邦雄副議長）質問ですか、意見ですか。

○8番（絵内勝己議員）意見として。

○副議長（杉本邦雄副議長）他にありませんか。

（「なし」の声あり）

○副議長（杉本邦雄副議長）無ければ、質疑を終結を致します。これより討論に入ります。ご意見ありませんか。はい、橋場議員。

○12番（橋場 守議員）絵内議員からも意見が出されたのですが、対象として沼田町内の病院に限っているのです。厚生病院、それから歯科医院とですね。実際には沼田の厚生病院には入院出来ないで深川に行きなさいとって深川の病院に入院させられる人もいます。そういう人達が帰ってきて市立病院に月2回おいでとか、1回おいでとかと行かなければならない人がいるのです。そういう人の中にバス停までハイヤーを利用して通院している人がいるのです。病院のためにやるのであったら、沼田町内の病院だけでいいのですが、町民のそういう人を対象者にしてやるとすれば、そういうところも配慮しなければならないのではないかなと思うので、今後の検討課題として研究していただきたいと思います。

○副議長（杉本邦雄副議長）他に意見ありませんか。

（「なし」の声あり）

○副議長（杉本邦雄副議長）討論を終結致します。本案について採決致します。お諮り致します。議案第76号は、原案のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

(挙手多数)

○副議長（杉本邦雄副議長）賛成多数であります。よって、本案は原案のとおり決しました。

(閉会宣言)

○副議長（杉本邦雄副議長）以上で、本臨時会に付議された案件は、すべて終了致しました。これにて、平成18年第6回沼田町議会臨時会を閉会致します。ご苦勞様でした。

10時50分 閉会

会議の経過を記載し、その内容に相違ないことを証するためにここに署名する。

議 長

署名議員

署名議員